明治150年に寄せて

本県統計の夜明け前　～新治県の概略～

政策企画部統計課

平成30年（2018年）は，明治元年（1868年）から起算して満150年にあたり，国や県，市町村などで各種関連行事が予定されています。

明治初期の本県の状況を調べるには，明治12年以降の本県の統計書であれば，図書館等に行かなくてもすべて県統計課のホームページから見ることができます。更に古い資料を探すと，「国立国会図書館デジタルコレクション」で明治６年と７年の「新治県一覧概表」を見ることができますので，茨城県の統計が始まる前の資料として，その一部をご紹介したいと思います。

新治県は，明治４年７月に廃藩置県によって県下16の藩が県となり，同年11月にそれらの県が新治県（県庁土浦），茨城県（同水戸），印旛県（同佐倉）の３つの県に統合されたうちの一県です。（図１）

ちなみに，11月13日が県民の日となったのはこの時に「茨城」という県名が使われたことに由来するそうです。明治8年5月には，新治県の一部，千葉県（旧印旛県）の一部と茨城県が統合してほぼ現在の県域の茨城県となりますので，新治県は約４年間だけ存在した県です。

この「新治県一覧概表」によると，県庁は土浦にあり，常陸国６郡（新治，信太，鹿島，河内，行方，筑波），下総国３郡（香取，匝瑳，海上）の５大区51小区５町1,276村を管轄していました。明治５年には戸籍法や学制が始まりましたが，人口や生徒数は次のように記載されています。ちなみに，明治８年に統合後の茨城県の人口は約86万人となっています。

		明治６年	明治７年
総石高		62万2,601石	62万2,569石
戸数		91,341戸	91,206戸
本籍人口	総数	471,048人	478,940人
	男	240,021人	243,689人
	女	231,027人	235,251人
小学校		11校	23校
教員	男	32人	74人
	女	2人	1人
生徒	男	1,150人	2,635人
	女	605人	701人

その他にも，神社巨刹，船車，湖沼，名邑，港湾，城，跡跡名勝，里程などが一覧表形式で記載されています。

■統計の窓

物産では，海や湖沼に囲まれた地域であることから，魚介類の種類が豊富でありますが，酒や醤油等の醸造も盛んであったようです。

表の欄外に「県治ノ大略ヲ掲載シテ前後盛衰隆替ノ比較ニ備ル」と記載がありますのは，「統計」（statisticsの訳語）という言葉がまだ使われていない年代ですが，統計的な考え方だと思います。

明治150年にあたって，古い統計書などを調べてみると，意外なことや興味深いことが発見できるかも知れませんので，是非ご覧いただけるようお願いいたします。この「統計いばらき」も県統計課のホームページで昭和10年（1935年）１月の創刊号から見ることができます。

（横）

図１　明治７年頃の本県

（国土交通省国土政策局「国土数値情報」 を元に筆者が加工して作成）

＜参考ＵＲＬ＞

明治150年関連施策：http://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/chikei/keikaku/meiji150th.html

明治初期茨城の統計事情：

http://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/tokeisyo/nenkanarc/documents/tokeijijou.pdf

統計情報アーカイブスについて（「統計いばらき」平成25年4・5月号）：

http://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/tokeisyo/ibarakiarc/documents/tokei1304-05-03.pdf

国立国会図書館デジタルコレクション：http://dl.ndl.go.jp/